

事項九 中国米輸入交渉ニ関スル件

五二七 六月二十六日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
後藤外務大臣宛

江蘇米対日輸出方ニ付三井洋行ト江蘇当局ト
ノ交渉ニ関シ報告ノ件

南領第八二号 (七月六日接受)

大正七年六月二十六日

在南京

領事館事務代理 清野長太郎(印)

外務大臣男爵 後藤新平殿

日本内地ニ於ケル米価騰貴ヲ調節セシムルノ下ニ江蘇米ヲ
日本ニ輸出シ度キ旨ヲ以テ右輸出ノ解禁方ニ関シ支那当局
ト面談ノタメ三井洋行上海支店穀物係長江藤豊二当地ニ来
リ前任高尾領事ノ紹介方ヲ得テ去ル十九日当省実業庁長張
軼欧ニ面会致候処張ハ

自分ノ見ル所ヲ以テスレハ今日ノ如ク經濟圈膨脹シ殊ニ
貴我有無相通スルノ必要ヲ感スル時ニ方リ尚旧習ヲ墨守

ナルモ如何セン一度其輸出ヲ解禁センカ当省ノ米価ノ騰
貴ヲ致スハ明カニシテ日本ニテハ石六七円ノ騰貴モ左程
ノ恐慌ヲ来ササルヘキモ当地方ニ於テハ五六十仙ノ騰貴
ハ直ニ多数民ノ生活ニ大打撃ヲ与ヘ殊ニ細民多キ江北ニ
於テハ一層土匪ノ横行ヲ見ルニ至ルヘシ尚本件ノ解禁ヲ
行フニ方リテハ省議會ノ決議ニモ附スル必要アリト認メ
ラルルトコロ曾テ同議會ノ意向ヲ探リタルニ反对甚タシ
カリシニ鑑ミレハ今回モ到底同意ヲ得ルノ見込ナシ云々
ト述ヘ要スルニ齋省長ハ自己ノ地位ヲ甚タシク顧慮シ居ル
カ故ニ此上話ヲ進ムルモ成功ノ見込ナキニ付浙江安徽ハ案
外容易ニ話カ纏ルヘケレハ其方面ニ於テ相談シテハ如何ト
ノ省長ノ注意ニ從ヒ帰滬ノ上浙江ニ赴ク考ニテ一先ツ交渉
ヲ打チ切りタリトノ趣右江藤ヨリ直接聴取致シ候
右ニ拠テ見レハ江蘇米輸出解禁ハ当分殆ト絶望ト觀察スル
ノ外無之カルヘシト被存候此段為御参考報告申進候 敬具
写送付先 在支公使上海總領事

五二八 八月六日 在北京小林財務官ヨリ
勝田大蔵大臣宛(電報)

中国ノ米穀豐作ニ付江蘇米余剩ノ対日輸出ハ

九 中国米輸入交渉ニ関スル件 五二八

シテ米ノ輸出禁止ヲナシ居ルハ当地方ノ農業ヲ刺戟シテ
其發達ヲ促ス所以ニモアラサレハ自分ハ解禁ヲ欲スル次
第ナルカ如何セン旧習ノ久シキ今俄ニ解禁ヲ敢行スルハ
有力ナル反对ニ逢フナキヲ保シ難ク齋省長ニ於テモ此点
ヲ慮リ居ラルルニ付直接省長ニ面会説得セラレテハ如何
ト述ヘ交渉ノ責任ヲ避ケタキ模様ナリシニ付更ニ江藤ハ二
十一日省長ニ面会シ(一)目下市場ニ於テ三百万石余ノ在荷ア
レハ其内ヨリ二十万石内外ノ米ヲ輸出スルモ新米ノ出来ル
迄ニハ米価ノ騰貴ヲ見サルヘク(二)世上ノ喧伝ヲ避クルタメ
出来得ル丈秘密ニ購入スヘキニヨリ反对ノ輿論ヲ惹起ス
ヘキ憂モアラサルヘク(三)米価ノ或ル一定ノ騰貴ヲ制限トシ
テ許可セラルルモ可ナリ(四)或ル程度迄ノ特別納稅ヲ条件ト
シテ許可セラルルモ可ナリト百万説クトコロアリシモ省長
ハ

日本米価暴騰ノ今日ナレハ当省ノ米ヲ輸出シテ幾分ナリ
トモ之ヲ救済スルハ友誼上ノ義務トシテ希望スルトコロ

日中兩國ノ利益ナルベキ旨報告ノ件

第九十三号 (八月七日接受)

支那ノ米穀ハ豐作ニシテ支那自身ノ需要ヲ充シテ尚多額ノ
剩余ヲ生スル見込ノ由ナレト米穀輸出禁止ノ為穀価下落シ
農民ハ困難ノ模様ナリ現ニ米穀ノ集散地方ナル江蘇省無錫
附近ハ其著シキモノナルカ如ク二三百万石ノ剩余アルカ如
シ此二三百万石ノ米穀ハ之ヲ日本ニ輸出シ得ルナラムニハ
米価暴騰ノ我國ニハ非常ナル利益トナリ又支那ニテモ剩余
額ノ有效ナル処分ナリ米価ノ下落ヲ防止シ農民ノ苦痛ヲ
和クルコトトナリ日支兩國ニ取リテ都合ナリト思考セラ
ル支那財政部ニモ此米穀輸出ニ賛成論者モアル模様ニテ日
本商人ヨリ財政部ニ剩余米穀輸出認可方請願書ヲ提出セハ宜
シカラムトノ説モアリ時節柄御参考迄申上度

(参考)

支那農商務部ノ調査ニ依レハ民国四年支那全国ノ收穫量粳
十八億三千百九十三万八千三百十石糯一億七千三百二万二
千七百九十九石合計二十億四百九十六万九千九百九十九石(支那ノ
一石ハ我約五斗七升ニ当ル)

五二九 八月九日 後藤外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

江蘇米ノ余剩ヲ日本ニ輸出スル様中国政府当局ニ懇談スル様訓令ノ件

第六一八号

米価ノ騰貴ニ因ル国民生活上ノ困難ヲ予防スル目的ヲ以テ外米管理制度ヲ実施シタルモ米価ハ騰貴一方ニシテ政府ハ之ヲ救済ニ苦ミツツアルハ御承知ノ義ト思料セラルル処小林財務官ヨリ大蔵大臣宛第九十三号電報ニ依レハ支那ニ於テハ米穀輸出禁止ノ為穀価下落シ農民困難ノ模様ニテ江蘇省ニ於テハ二三百万石ノ剩余アル由ニ付此ノ際相当数量迄米ノ輸出ヲ特許スルハ日支両国ノ利益ト思考セラル尚本邦ヘノ米ノ輸入ハ一切政府指定商ノ手ヲ経ルモノナルヲ以テ競争ニ依リ支那市場ニ於ケル米価ヲ劇変セシメ市場ヲ攪乱スルカ如キ虞毫モ無之ニ付貴官ハ前記ノ次第篤ト支那当局ニ説明シ善隣ノ誼ニ訴ヘテ本邦ヘ相当数量江蘇米ノ輸出ヲ許可スル様至急御懇談ノ上結果電報アリタシ
尚本邦ニ於テ需要スル米ノ数量ニ就テハ支那側ニ於テ輸出許可ノ意嚮アルヲ確メタル上予算ヲ立テテ申送ル可シ

五三〇 八月十日 仲小路農商務大臣ヨリ
後藤外務大臣宛

中国米対日輸出ニ付中国政府ト至急交渉方ニ関シ照会ノ件

米第四四九号

大正七年八月十日

農商務大臣 仲小路廉(印)

外務大臣男爵 後藤新平殿

内地在米例年ニ比シ非常ノ減少ヲ示シ為メニ米価異常ニ騰貴シ国民生活上甚タ憂慮スヘキ事態ニ有之政府ハ之ニ備フル為メ既ニ外国米管理ノ制ヲ施行シ蘭貢及西貢ヨリ多量ノ輸入ヲ計リ居候得共未タ充分ニ其ノ数量ヲ充タスニ至ラス米価尚奔騰ヲ持續シ社会上甚タ不安ノ状勢ヲ呈シ候然ルニ今般小林駐支財務官ヨリ別紙ノ通大蔵大臣宛電報有之候ニ付テハ此際善隣共助ノ誼ヲ以テ相当数量ヲ本邦ニ輸出スルノ举措ヲ執ルヘキ様至急中華民國政府ニ交渉方御取計相成度此段及照会候也

追テ本件ニ関シテハ先般三井物産株式会社ヲシテ熱心ニ北京政府及江蘇総督ニ対シ運動セシメ候得共不成功ニ終

中国米対日輸出許可方中国政府ニ申入レタル旨及中国回答八十五日以後トナルベキ旨報告ノ件

第一〇七六号

貴電第六一八号ニ関シ本使病ノ為八月十三日船津ヲ外交部及農商部ニ遣ハシ貴電ノ趣篤ト説明セシメ同時ニ覚書ヲ手交セシメタル処支那当局ハ執レモ本件ハ事重大ナル關係アルニ付八月十五日夜國務(脱)ノ上ナラテハ何等挨拶出来兼ヌル旨答ヘタル趣ナリ不取敢

註 本電外務省著八月十七日午前七時三十五分

五三三 八月十五日 在中国林公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

中国米対日輸出許可方段總理ニ申入レ段八江蘇省長ノ意見ヲ徴スベキ旨答ヘタル件

第一〇八一号

貴電第六三七号ニ関シ

既ニ外交部及農商部ヘ夫々申入置キタル次第ハ往電第一〇七六号ノ通ナル処八月十五日更ニ船津ヲシテ段總理ヘ可成至急決定方申入シメタルニ段ハ恰モ只今國務會議ニ於テ本

(欄外註記)

「八月九日外米管理局長來省本件ニ関シ通商局長ニ内談アリ即日林公使ニ電訓セリ」

註 別紙ハ前掲(五二八 文書)ニ付省略

五三一 八月十三日 後藤外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

中国米ノ対日輸出許可至急取付方訓令ノ件

第六三七号

往電第六一八号ニ関シ米価騰貴ニ起因スル各地ニ於ケル騒擾ハ新聞電報ニテ御承知ノ通ニ付支那当局ノ好意アル考量ヲ求メ至急米ノ輸出許可ヲ取付クル様極力御尽力アリタシ

五三二 八月十三日 在中国林公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

九 中国米輸入交渉ニ関スル件 五三一 五三二 五三三

件ニ関スル相談ヲ遂ケタル結果都合ニ依リ日本ヨリノ依頼ナルコトハ差当リ明言セス単ニ無錫商務總會ノ意見ニ基キ農民ノ困難ヲ理由トシテ輸出解禁ノ可否ニ関シ江蘇省長ノ意見ヲ徵スルコトトナリタル旨ヲ答ヘタル趣ナリ尚財政総長ニ対シテモ本件至急遂行方ニ関シ極力勸説ヲ試ムル答ナリ右不取敢

五三四 八月二十日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

江蘇米対日輸出ハ江蘇省議會ノ同意無キ限り
行ハレ難キ旨江蘇省長談話ノ件

第七三三

江蘇米日本輸出ニ関シテハ六月二十六日拙信報告ノ通ナル処在支公使ヨリ当国政府ニ対シ支那米日本輸出方ヲ交渉シタル結果当国政府ハ当省ニ其輸出ヲ命ジタリトノ記事上海ノ新聞ニアリタルヲ以テ本件ニ関スル省長ノ意見ヲ確メンガ為メ八月二十日往訪セシニ省長ハ江蘇米ノ日本輸出ニ付テハ政府ヨリ何等ノ申越シ無キガ当地ニ於ケル米商モ之ヲ希望シ又自分トシテモ当省ノ米ヲ以テ日本ノ暴騰セル米価ヲ幾分ナリトモ緩和シタキハ固ヨリ望ム所ナルモ客年省議

会ニ於テ本件ヲ討議シタル際ハ二十対九十ノ多数ヲ以テ否決セラレタルガ故ニ新ニ省議會ノ同意ヲ得ザル限りハ米ノ輸出解禁ハ民意ニ反スルモノトシテ到底命令シ難キ次第ナリ云々

在支公使へ転電セリ、在上海総領事へ郵報セリ

五三五 八月二十日 在中国林公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

中国米対日輸出ニ付書財政総長ハ日本側ノ買入予定価格ヲ知り度キ旨申居ルニ付之ニ対スル回答振請訓ノ件

第一一一号

(八月二十一日接受)

貴電第六一八号ニ関シ
八月二十日船津ヲシテ曹汝霖ニ其後ノ成行ヲ尋ネシメタル処、曹ハ江蘇省長齊耀琳カ從來米ノ輸出ニ反対シ居ルコトハ承知シ居リシガ最近稅務処ヨリノ問合ニ対シ極メテ強硬ナル反対意見ヲ回答シ来リ此上同省長ノ回答ヲ待ツニ及バズト認メ段総理トモ相談ノ結果、是ハ極メテ内密ノ計畫ナルガ外国輸出ヲ標榜スル時ハ必ズ各方面ノ反対ヲ惹起シ到底成功ノ見込ナキニ依リ寧ロ軍用米ノ名義ニテ百万乃至百

第一一二〇号

(八月二十二日接受)

往電第一一一八号ニ関シ本件ハ從來非公式ニ懇談ヲ重ネ来リタル次第ナルモ其計畫ハ既ニ漢字新聞紙上ニ流伝セラレ之ガ実現ニ付或ハ困難アルヤニ認メラル一方閣下宛在南京領事發電報第八三号ノ通り省議會ノ反対ニシテ避ケ難キ以上裏面ニ於ケル非公式懇談ノミニテハ容易ニ埒明カザルヤニ思料セラルルニ付右ノ計畫ヲ離レ貴電第六一八号ノ趣旨ニ基キ且前記在南京領事電報ノ内容ヲ指摘シテ正式ニ外交総長ニ申入ルコトニ取計フベキニ付右御承知置アリタシ貴電第六一八号往電第一〇八一号及第一一一八号並本電上海、南京へ郵報セリ

五三七 八月二十二日 在上海有吉総領事ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

中国米対日輸出問題ニ対スル上海方面ノ情况
及米価値上リニ関シ報告ノ件

第一一八号

支那米ノ日本輸出ニ関シテハ当地商務總會ニ於テモ反対スルモノ少ク米商ハ却テ之ヲ歡迎シ督軍亦反対セサルモ省長ハ多少反対ノ態度ニ出テツツアリ一般商人側ニ於テモ日本

五拾万石(支那石) 政府ノ手ニテ買取シタル上(時宜ニ由リテハ一旦天津迄搬出シ) 更ニ日本ニ輸出スルコトトシ、目下折角研究中ナルカ此際最モ必要ナル点ハ日本側ニテ米一石(支那量)ニ対シ上海渡シ約幾何ヲ支払ハルル心算ナルヤ、此点至急御取調ノ上御回答ヲ請フ、尚政府ハ仮ニ百万石ヲ輸出スルコトトシ毎石約五弗ノ特許料ヲ徵收スル時ハ合計五百万弗ノ収益ヲ得ル割合ナリトテ莫大ノ利益ヲ期待シ居ルモノノ如クナリシ由ニ付、船津ハ善隣ノ厚誼ニ顧ミテ輸出スルニ当リ特許料ヲ徵スルハ面白カラス又仮ニ之ヲ徵シテモ從來ノ例ニ徵シ一弗以上ヲ超ユルヲ得ズ從ツテ支那側ノ期待セラルル如キ巨額ノ収入ヲ得ル能ハサルハ明カナリト答ヘタル趣ナリ、前記曹ノ計畫カ果シテ実現シ得ルヤ否ヤ疑問ナルモ兎ニ角、上海渡シ一石約幾何ナレバ取引成立シ得ル見込ナルヤ当業者ノ意見ヲ聽合ノ上至急御回報ヲ請フ

五三六 八月二十一日 在中国林公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

中国米対日輸出許可方外交総長ニ正式ニ申入ルベキ旨稟申ノ件

ニ輸出セラルヘキ米ノ品質上等ナルト其ノ数量期間ニ制限アルヘキヲ予期シ著シキ影響ヲ見サルモ輸出交渉開始ノ伝ヘラレテヨリ当地米価支那一石ニ付銀五十銭方ノ騰貴ヲ見タリ尚当地三井ニ於テハ輸出取扱ノ準備ヲ為シツツアルモ未タ買付ニ着手セサルカ如シ

五三八 八月二十三日 後藤外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

江蘇米上海沖渡一担邦貨約八円迄ニテ買入レ

度キ旨回訓ノ件

第六八三号

貴電第一一一八号ニ関シ農商務省ニ於テハ日本米ニ酷似セル江蘇米上海沖渡一担(百斤)ニ付輸出特許料其ノ他一切ノ費用ヲ加算シ邦貨約八円迄ニ買取リタキ希望ナリ尤モ產地ニ於ケル時価其ノ他ノ關係上已ムヲ得サル事情アルニ於テ八十円迄ハ支払フヘキ見込ノ由ニ付右御含ノ上可然御交渉アリタシ尚上海ヨリ天津ヘ回送スルトキハ経費非常ニ嵩ムコトトナルヲ以テ上海ヨリ直ニ本邦ヘ輸送スルコトトシタシ又買入数量ハ可成多量ヲ希望スル次第ニ付御含置ノ上本件至急取り纏マル様十分御尽力アリタシ

五三九 八月二十四日 後藤外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

日本ノ事態ニ鑑ミ中国米対日輸出解禁方極力運動セラレタキ件

第六八八号(至急)

往電第六八三号ニ関シ貴官ニ於テ十分御尽力中トハ信スルモ本邦ニ於ケル事態ハ益窮迫シ此ノ際至急支那米ノ日本向輸出解禁ヲ見サルニ於テハ由々敷大事ヲ惹起スルノ虞少カラサルニ付貴官ハ此ノ上トモ支那当局ニ対シ極力運動セラレタシ

尚本件急速成効ヲ期スルニ付我ニ於テ此際何等カ交換条件提出ヲ利トスル御考案モアラハ折返シ電報アリタシ

五四〇 八月二十五日 在中国林公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

中国米対日輸出許可方ニ付段総理及曹財政總

長ニ篤ト申入レタル旨報告ノ件

第一一三四号

本使ハ八月二十四日夜帰館二十五日段総理ヲ往訪シ曹財政總長ノ同席ヲ求メ貴電第六八八号ノ件篤ト申入レタル処段

ハ中央政府ノ関スル限り何等異存無キノミナラズ充分日本政府ノ為メニ尽力スル考ナルモ江蘇省長及省議會ノ反対アル為メ未ダ決定スル能ハザル次第ナルガ省長ノ方ハ中央ノ力ヲ以テ何トカ話ヲ付クル事困難ナラザルモ省議會ノ方ハ一概ニ圧迫モ出来兼スル事情有之目下折角其承諾ヲ取付クルコトニ関シ尽力中ナリト答ヘタリ尚支那政府トシテハ輸出許可決定ノ上ハ前例ニ照シ每石二弗内外ノ護照下附料ヲ徴スルコト並ニ輸出ノ数量期限ヲ制限スルコト位ニ止メ價格ノ如キハ日本政府指定商人及支那商人間ノ商定ニ一任スルコトト致シ度キ意嚮ヲ漏シタルニ付本使ハ更ニ至急決定方ヲ懇懇依頼シ置ケリ(二十五日)

上海及南京ヘ転電セリ

五四一 八月三十日 在中国林公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

馮總統中国政局及米穀輸出問題ニ関シ内話ノ

件

第一一五四号 (八月三十一日接受)

八月二十九日本使暇乞旁々馮總統ヲ往訪シタル処總統ハ最近本使が段総理ニ会見シタルコトアルヤヲ尋ネタルニ付本

使ハ昨日モ会見シタリト答ヘルニ馮ハ何時局談ナカリシヤト推問セルニ付本使ハ段総理ハ今(脱)解決ノ決心ニテ且其成效スベキヲ信シ頗ル樂觀のナルヤニ見受ケラルト簡單ニ答ヘタル処總統ハ昨今外間種々ノ謠言アリ就中吳佩孚ノ主和通電ニ関シテハ種々ノ臆説モアル由ナルガ吳ハ元曹錕ノ部下ニテ南征ノ將軍中最モ勇敢ナルモノナルガ今日驟然從來ノ態度ヲ一変シタルハ必スヤ過去ノ実験ニ依リ到底武力解決ノ不可能ナルヲ自覺シタル為メナルベク決シテ第三者ノ思想等ニ出テタルニアラザルハ明カナリ中央ニアリテ前敵將士ノ勞苦ヲ知ラズ徒ラニ机上兵ヲ談スルモノノ了得スル能ハザルモノアルベシ何レニシテモ吳ハ正理ニ依リテ争フモノナレバ中央ガ無理ナル圧迫ヲ加ヘザル限り決シテ無謀ノ暴挙ニ出ヅルコト無カルベク從テ何等危險ナル形勢ヲ惹起スルコトナカルベシト信ス唯茲ニ懸念スベキハ大總統選舉後ニ於ケル政況如何ニアリ即チ次期ノ大總統ハ徐世昌タルベキコト最早疑ナキガ如クナルモ徐氏ガ果シテ就任スルヤ否ヤ頗ル覺束ナシ如何トナレバ段総理是迄ノ政策ガ成功スレバ兎モ角万一成功セザル場合政局ハ極メテ困難ナル状態ニ陥ルベク斯ノ如キ事情ノ下ニ徐氏ニ蹶起就任スル

ノ勇氣アリヤ否ヤ頗ル疑問ナリ無論自分(馮)ハ任期満了ト否トニ拘ラス断然野ニ下ル決心ナルガ去リトテ国家ノ安危ヲ度外視スル考ハ毛頭之レ無ク仮令野ニ在リテモ極力大局ヲ擁護スル所存ナルガ或ハ再ヒ混沌タル状態ヲ現出スルコトナキヤヲ憂慮シ居ル次第ナリ故ニ自分ハ段総理モ亦此機ニ乗シテ断然野ニ下リ自分ト協力シテ大局維持ノ勞ニ当ランコトヲ切望シ居レリ何レニシテモ對外關係殊ニ日本ニ對スル方針ニ至リテハ大總統乃至内閣ノ更迭アリト雖モ何等變更スルカ如キコトナキヲ信シ且之ヲ希望シ居ル次第ナルニ付其点ハ御安心アリタシト述ヘテ吳ガ馮ノ使噤ニ出テタリトノ噂アルニ對シ極力弁解ヲ試ミントスルモノノ如ク更ニ米ノ輸出問題ニ談及シ總統ハ米ノ輸出ガ若シ隣邦ノ急ヲ救ヒ一面自國農商ノ利益トナル次第ナレバ此際至急然ルヘキ人ヲ産米地方ニ派シテ地方人民ニ對シ篤ト利害得失ヲ説明シ意思ノ疏通ヲ図ルコト肝要ナリト考ヘラルルニ付此点國務院当局者ニ注意ヲ与フヘシト附言セリ右御參考迄

五四二 九月三日 在中国林公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

曹財政總長中国米對日輸出ハ隣邦救済ノ一時

第七三三三

貴電第一一七〇号ニ関シ支那政府ハ江蘇省長ニ對シ同省産米輸出方ニニ就キ帝國政府ヘ既ニ承諾ヲ与ヘタル旨電報シタルトアル処支那政府ハ貴官ニ對シ右同様確言シタルコトアリヤ折返シ電報アレ

五四四 九月五日 在中国林公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

中国政府ハ江蘇米ヲ軍用トシ買収ノ上日本ニ
輸出ノコトニ決定セル旨曹財政總長内話ノ件

第一一九〇号

貴電第七三三三三号ニ関シ

九月五日曹汝霖ニ念ヲ推シタル処実ハ日本政府ニ承諾ヲ与ヘタルヲ口実トシテ江蘇省長ヲ庄迫スルコトニ一旦内定シタルモ其後段総理ヨリ省長乃至省議會ヲ相手トシテ電報ノ往復ヲ重ナルモ到底急ニ埒明クヘキ見込ナキニ付寧ロ軍用米ノ名義ヲ以テ輸出ヲ断行スル方得策ナリトノ意見ヲ提出セラレ閣議モ之ニ賛同決定スルコトナリタルニ付此際陸軍部ヨリ委員ヲ江蘇地方ニ派遣シ一定ノ數量ヲ限リテ買収輸出セシメ度詳細ナル具體的便法ハ更ニ商議決定致シタシ

的処置ニ過ギザル旨江蘇省長ニ電報シタル趣
船津ニ内話ノ件

第一一七〇号

九月二日曹汝霖ノ船津ニ内話シタル所ニ拠レバ江蘇省長ヨリハ同省産米輸出解禁ノ報伝ハルヤ上海ニ於ケル米価既ニ毎担八弗ニ騰貴シ今後愈々実行サルル如キ場合ニ至レバ更ニ騰貴シ人民ノ困難甚シキニ付本件中止有リタキ旨ノ電報ニ接シタルヲ以テ直チニ今回日本ヘノ米穀輸出計画ハ決シテ解禁ニ非ズ全ク日本ニ於ケル米穀欠乏ノ結果同國人民ノ困難甚シキヲ視ルニ忍ビズ隣邦ノ好誼ニ顧ミ救済ノ意味ニテ約百万担ノ輸出ヲ特許セントスルニ過ギズ且日本政府ヘハ既ニ承諾ヲ与ヘ今更中止スルコト到底出来兼ヌルヲ以テ其辺篤ト諒得ノ上省議會方面ニ於テモ誤解ナキ様至急説得方尽力スベキ旨電訓シタル趣ナリ
上海、南京ヘ電報セリ

五四三 九月四日 後藤外務大臣ヨリ
在中国林公使宛(電報)

中国政府ガ江蘇米ノ對日輸出ヲ承諾セル事實
アリヤ問合ノ件

ト答ヘタルニ付本使ハ然ラハ我政府ヨリ確實ナル商人ヲ指定シテ支那陸軍部派遣ノ委員會ト会合実行ニ着手セシムルコトモ一策ナランカト附言シ置ケリ此点御考慮アリタシ

五四五 九月九日 植原通商局長ヨリ
片山臨時米穀管理部長宛

江蘇米對日輸出ニ付我方指定商人ノ現地派遣
其他細目ニ関スル農商務省意見問合ノ件

通機密送第二〇三三

本件ニ関シ本月四日付通機密送第二〇〇号ヲ以テ申進置キタル次第有之候処同信附屬書中支那政府ハ江蘇省長ニ對シ同省産米輸出方ニ就キ帝國政府ヘ既ニ承諾ヲ与ヘ云々ト電報シタルト有之候ニ付折返シ林公使ニ對シ支那政府ハ果シテ右様同公使ニ確言シタル次第ナリヤ稟報方及訓令置候処今般同官ヨリ別紙^(註)ヲ通電報有之右ニ依レハ支那政府ハ愈々江蘇米本邦輸出ノ方針ヲ決シ不日現場ニ陸軍部々員ヲ派遣スル運ト相成様被為思考候ニ就テハ林公使所説ノ通り右買入ノ際我方指定商人ヲシテ前記支那政府派遣員ト会同実行ニ着手セシムルコトモ或ハ一便法ナルヘキカト存セラレ候処同公使ヘ回訓ノ都合モ有之候ニ付右ニ関シ何分ノ義至

急御回示相成度猶輸出実行ニ関スル便法ニ関シテハ追テ先方ヨリ何等申出ニ接スルコトトハ思考スルモ此際我方希望ノ大体ヲ開示シ置ク方可然ト被存候ニ就テハ輸出希望ノ大体ノ数量、其ノ買取方法及び価格並ニ受渡ニ関スル方法等ニ就キ貴省ノ御意見御回示相成度此段申進候也

註 別紙ハ前掲林公使來報第一一九〇号ノパラフレーズナリ省略ス

五四六 九月十日 片山農商務省臨時米穀管理部長ヨリ
埴原通商局長宛

江蘇米買取方法、価格、数量、受渡方法、我方取扱商人等ニ関スル農商務省意嚮回示ノ件
米管第一二二九一号 (九月十一日接受)

大正七年九月十日

農商務省臨時米穀管理部長 片山義勝(印)
外務省通商局長 埴原正直殿

本年九月九日付通機密第二〇三号ヲ以テ支那米ニ関スル件御照会相成候処大体左記ニテ御了知相成度依命此段及回答候也

記

曹財政總長日本側提示ノ価格ニ対シ異議アル旨報告ノ件

第二二二九号

貴電第七七八号中一、二、三、四、五各項漢訳ノ上九月十四日船津ヲシテ曹總長ニ手交シ其回答ヲ求メシメタル処曹ハ價格余リニ廉ニ過キルヲ非難シタル後自分ニハ直ニ確答出来難キニ付一応部内ノモノト相談ヲ遂ケタル上ニテ何分挨拶可致ト答ヘタル趣ナリ右不取敢

註 外務大臣發往電第七七八号(九月十三日發)ハ前掲農商務省意嚮ヲ電報シ中国側ト協議スル様訓令セルモノナリ

五四八 九月十九日 在中国芳沢臨時代理公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

曹財政總長ハ上海商務總會ヨリ江蘇省長ニ米輸出ヲ請願スル様電命セル旨船津ニ談話ノ件

第二二四五号

往電第一二二二九号ニ関シ九月十八日船津ヲシテ其後ノ成行ヲ尋ネシメタル処曹總長ハ恰モ關係方面ト協議中偶々上海商務總會ノ某有力者ヨリ米ノ買付ハ困難ナラサルヘキモ目下船腹欠乏ノ際ナルニ付船ノ都合等ハ日本側ニ於テ周旋セ

九 中国米輸入交渉ニ関スル件 五四八 五四九

一、差当リノ輸出希望数量ハ江蘇米約七八十万担ナルモ價格ノ如何ニ依リテハ更ニ買入ルルモ差支無之

二、買取方法ハ支那政府ニテ買取リタルモノヲ本邦指定商ニ於テ引受クルコトト致度受渡ハ上海倉渡ニテモ上海船乗ニテモ支障無之又場合ニ依リテハ無錫渡等ニテモ支障ナキ見込ナリ

三、價格ハ江蘇米(日本米ニ酷似セルモノ)中等品上海船乗一担(百斤)ニ付輸出特許其ノ他一切ノ費用ヲ加算シテ邦貨約十円以下ニテ買取リタキ見込ナリ

四、支那陸軍部員ト共ニ買入ノ局ニ当ルヘキ商人ニ付テハ外米買入指定商タル三井物産株式会社、合名会社鈴木商店、湯淺貿易株式会社及株式会社岩井商店ノ上海在勤員ヲシテ之ニ当ラシメ度唯相場昂騰ノ懸念モアルヲ以テ支那政府ノ手ニ於テ一手ニ買取ルコトトシ各指定商ニ対シテハ其ノ取扱高ヲ割当ツルコトト致度

五、支那政府ニ於テ買取ノ場合ニハ買入價格ヲ昂騰セシメサル様相当ノ方法ヲ採ラレ度キコト

五四七 九月十四日 在中国芳沢臨時代理公使ヨリ
後藤外務大臣宛(電報)

シムル様尽力アリタシトノ來電ニ接シタルヲ以テ財政部ニテハ折返シ商務總會ノ名義ヲ以テ米輸出ニ関シ江蘇省長ノ同意ヲ請願スル様運動方電命及ヒ置キタリ若シ江蘇省長カ商務總會ノ請願ヲ許可スルコトナラハ軍用米ノ名義ヲ用ユル如キ変則ノ手段ニ依ル必要ナキコトナルヘキモ上海ヨリ何分ノ返電アル迄猶予アリタシト答ヘタル趣ナリ
上海南京ヘ電報セリ

五四九 十二月十三日 在南京清野領事館事務代理ヨリ
内田外務大臣宛

江蘇米輸入運動ノ為藤田論一ナル者來訪ニ関スル件

南領機密第四二号 (十二月二十三日接受)

大正七年十二月十三日

在南京

領事館事務代理 清野長太郎(印)
外務大臣子爵 内田康哉殿

去ル十日「大日本農會、東京実業組合聯合會、全國産業組合中央會、東京商業會議所調査囑託」トノ肩書附ノ名刺ヲ

持参セル藤田諭一ナル者小官ヲ来訪シ現今日本ニ於ケル米ノ供給ハ其需要ヲ充タスニ足ラサルヲ以テ前頭ノ実業団体ハ如何ニモシテ当地方ノ米ヲ日本ニ輸入センコトヲ熱望シ過般来研究ノ結果其実物ノ取引ハ三井、若シクハ鈴木商店ニ委スルトスルモ江蘇省ヲシテ其産米ノ輸出ヲ承諾セシムルノ交渉ニハ関係帝国官憲ノ援助ヲ得テ自ラ之ニ当ルモ辞セストナシ之カ為メ自分ハ先ツ情況ヲ視察シ情況ノ如何ニヨリテハ自分ニ於テ当国ノ本件関係筋ト其交渉ヲ進ムベキ任ヲモ帶ヒテ渡支シ上海ニ於テ既ニ三井トモ打合ヲ了シテ当地ニ来リタル次第ナルニ就キテハ当地ニ於ケル本件ノ成行ト之ニ対スル意見ヲ承リ又可然キ人々ニ紹介方ヲ乞ヒ度シトノ旨ヲ申述べ候処右実業団体ノ派遣員ガ当地ニ来リ又其人ニ対シテ如何ナル便宜ヲ与フベキカ等ニ関シテハ閣下若シクハ在支那公使ヨリ何等ノ御訓令無之且北京ニ於ケル本件交渉ノ成行ニ関シテハ九月十九日芳沢代理公使發後藤前外務大臣宛第一二四五号電報ノ次第以後ノ事情ヲ知ラス候ニ付同人ニ対シテハ素ヨリ積極の援助ヲ与フルニ躊躇スル儀ニハ候ヘ共在上海總領事館内田書記生ノ小官宛紹介状ヲモ携帶致シ居リ候間本件自体ノ成功ハ邦家ノタメニ希望

リモ省長ニ慫慂スルトコロアリタル由ナルモ省長ハ省議會ノ反対決議アル以上ハ自分ニ於テハ其決議ヲ無視シテ許可シ能ハス省議會ニシテ同意スルニ於テハ自分ハ直ニ許可スベシト繰返スノミナリトノコトナリ（本年六月二十六日付南領第八二号及八月二十日發拙電第七三号御参照）

二、而シテ省議會ニ於テハ客年之カ反対ノ決議ヲナシタルノミナラズ今期ノ議會ニ於テモ十月十七日再ビ米輸出移出ノ嚴禁取締方ヲ重ネテ省長ニ咨申スベシトノ案ヲ提出セルモノアリテ大多數ヲ以テ可決シ外国ハ勿論他省ニ漏出スルモノモナキ様嚴重取締ラレ度旨ヲ省長ニ函請セリ三、故ニ本件省議會ノ決議ヲ覆スコトハ頗ル困難ナルニ似タルモ実業厅长カ小官ニ対シ予ノ見ルトコロヲ以テスレバ今秋ノ收穫當時ニ於テ前年收穫ノ剩余米ハ二百萬石ヲ超ユベシ故ニ此内ヨリ多少ノ米ヲ輸出スルモ差シタル米価ノ騰貴ヲ来サザルベク現ニ二ヶ月以來日本商人ハ支那人ヲ手先キニ使ヒテ江北地方ニテ買収シ之ヲ海州ヨリ青島ニ廻シテ輸出シ居リ其額ハ既ニ三四十數萬石ニ達スル事実（自分ハ特ニ人ヲ派シテ之ヲ確メタルモ省長ニモ報

スベキ点及同人自身ニ於テハ營利的ニ之ヲナスモノニ非ストイフ点ニ鑑ミ大略左記ノ如キ事情ト卑見ヲ告ケ尙実業厅长、省議会长、商務總會会长等ニ対シテ紹介致シ置キ候処同人ハ右等ノ人物ト会見ノ結果必スシモ見込ナキニアラスト感受シタル趣ニテ尚引続キ滞在シテ各方面ノ意向ノ研究ト共ニ相当ノ運動ヲ試ミ若シ契約締結ノ必要ト其成立ノ見込アルニ於テハ前頭実業団ニ地位名望アル責任者ノ来寧ヲ電請スル所存ナル旨ヲ申立テ爾来兩三回小官ヲ来訪シ協議的態度ヲ以テ指図ヲモ受ケタシトイヒ居ルガ如キ次第ニ候ニ就キテハ如何心得可然ヤ若シ御必要ト御認メノ際ハ電報ヲ以テ何分ノ儀御垂示相成候様致度此段報告旁請訓申進候

敬具

写送附先 在支那公使 在上海總領事

左記

一、小官ノ知レル限りノ当地ニ於ケル本件ノ交渉ハ去ル六月以來兩三回（最終ハ十月二十九日）三井洋行上海支店員来寧シ省長及実業厅长ニ面会シテ其都度異リタル種々ノ条件ヲ提示シ其特別許可方ヲ説得シタルトコロ実業厅长ハ由來個人トシテハ反対意見ヲ有セサルニ付同厅长ヨ

告セス其似ニナシ置ケリ）アリ而シテ江北ニハ相当ノ産米地アルモ之ガタメニ江南地方ヨリ該地方ニ流出セル米モアルコトハ否ミ難キ次第ナルガ米価ニ差シタルノ動搖ヲ見サルニ徴スレバ其輸出方法ノ如何ニヨリテハ当地地方ニ何等ノ惡影響ヲ及ホサザルコト明ナリ然ルニ省議會側ハ之ニ反対スルハ米ヲ輸出スレバ米価騰貴シテ細民ハ苦ムベシトイフガ如キ簡單ナル考ニ基クモノニシテ該議事録ヲ見ルモ一人ノ数字ヲ以テ其必要ヲ論シタルモノモナキ始末ナリ去レバ能ク這般ノ事情ヲ納得セシメ尙交換条件ヲ提出スルガ如キ事ヲナスニ於テハ其同意ヲ得ルニ難カラザルベシ而シテ省長ハ胆小ニシテ自己ノ責任ノミヲ恐レ居ルモノナレバ省議會ノ同意ナキ限りハ決シテ許可スルコトアラサルベキニ付同会ノ開会中（十二月二十八日迄）許可同意ノ決議ヲナサシムル事ヲ要ス然モ本件ノ他ノ一方法トシテハ日本政府ヨリ公式ニ又内密ニ一定數量ノ購入方ヲ当国ノ財政部及農商部ニ対シテ依頼スルニ在リ蓋シ中央政府ガ買収スルニ於テハ現ニ無制限ニ軍用米ヲ購入シ居ル事実ニ顧ミルモ省長及省議會ハ之ニ対シテ徹底的の反対ヲナシ得ベキモノニアラサレバ自分等ノ関

係ナク責任ナキコトトシテ其実行上差シタル故障ヲ致スコトアラサルベシ云々ト話シタルガ如キ実情ナレバ米輸出ハ絶対ニ不可能ニ非スト思考セラル

四、然ラハ省議會ヲ動かス方法如何トイフニ百六十ノ議員ヲ直接相手トシテ之ヲ操縦スルハ外人ノ能クスルトコロニアラサルガ故ニ当地方ニ於テ本件輸出ニ関シテ利益ヲ得ベキ者ヲ見出し或ハ之ヲ新ニツクリ其者ニ後援ヲ与ヘテ省議會ヲ操縦スル以外ニ途ナカルベシ

五、而シテ各城市ニ在リテ勢力ヲ有シ居ルモノハ商務總會ニシテ同会ハ省議會ニ対シテモ事實上相当ノ勢力アルモノナレバ公式ニ又内密ニ之ニ依頼スルカ又ハ同会ニ關係アル者ヲシテ臨時米輸出会社ト云フガ如キモノヲ設立セシメ兎ニ角先ツ二三ノ商務總會ヲシテ其他市場ニ於ケル輸出可能ノ数量ヲ決議セシメテ其方面ヨリ省議會ノ再討議ヲ促スニ於テハ前頭ノ如ク何等數字ニ根底ヲ置カスシテナシタル同会ノ米輸出反対ノ決議ヲ覆スコトヲ得ベシト思考ス

六、斯クシテ輸出シ得ベキ米ハ如何ニ少量ナリトシテモ之ヲ一度遂行スルニ於テハ第二回ニハヨリ多量ヲ輸出シ得

スル話合ノ結果ニ付請訓ノ件

第一七七五号

正金武内ノ申出ニ依レバ同人当地帰著後農商務省当局ノ内意ヲ含ミ米輸出特許方ニ関シ曹汝霖ト内議ヲ試ミタル処曹ハ蕪湖米輸出方多分詮議相付ク可キニ付一応公文ヲ以テ公使ヨリ照会ノコトニ取計ハレ度ク同時ニ曩ニ日本政府ヨリ申出アリタル江蘇米輸出方ニ付テモ此際何トカ考量ス可キニ付右ニ付テモ併セテ再照会セラレ度キ旨申述ベタル趣ニ就テハ成否ハ兎ニ角右様取計ヒ差支ナシト思料スルモ念ノ為メ何分ノ儀御電訓ヲ請フ尚御承知ノ通り蕪湖米ハ日本人ノ食用ニ適セザルモ重ナル目的ハ支那米輸入ノ声ヲ借りテ本邦ノ米価ヲ緩和セントスルニアル由ナリ

五五一 十二月二十六日 在中国小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

中国政府ニ蕪湖米及江蘇米輸出特許方申入ニ

関シ報告ノ件

第一八〇九号

往電第一七七五号ニ関シ未タ御回電ニ接セサルモ本件ニ付テハ本使赴任ノ際農商務当局ヨリ懇談ノ次第モアリタルニ

九 中国米輸入交渉ニ関スル件 五五一 五五二 五五三

ルノ端緒ヲ作り得ベシ

七、然レトモ右ハ当地以外ノ情況ヲ知ラザル小官ノ私見ニ過キス殊ニ本件ハ北京ニ於テモ何等カノ交渉アルベシト思考セラルルニヨリ其方面ニ於ケル成行ヲ知ラスシテ輕挙事ニ当ル時ハヨリ進ミタル他方面ノ交渉ヲ阻害スルコトナキヲ保シ難キニ付小官ニ於テハ仕事其者ハ素ヨリ贊成ナルモ上司ヨリ何等ノ訓令ナキ限り表立チタル援助及是レ以上ノ相談ニ与ルヲ得ス

因ニ藤田氏カ省議會長ヲ訪ヒタル際ハ同會議長ハ更ニ調査ヲ試ムベシト答ヘタル由ニテ尚小官カ督軍署顧問温世珍ト難談ノ折偶々本件ニ及ビタル際同顧問ハ多少ナリトモ当省ノ米ノ輸出ヲ必要トセバ小官ヨリ交渉員ニ依頼シテ共ニ二三ノ商務總會ヲ動かシテ夫々輸出可能額ヲ言明セシメタル上省議會ノ再考ヲ求ムルニ於テハ省議會ニ於テモ反対ノ理由アラザルベク目的ヲ達スルニ難カラスト思考セラルル旨ヲ語レリ

五五〇 十二月二十日 在中国芳沢臨時代理公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

正金ノ武内ト曹汝霖トノ中国米対日輸出ニ関

付兎ニ角支那当局ニ対シ蕪湖米相当数量(約百万石)輸出特許方ヲ依頼スルト同時ニ江蘇米輸出方ニ付テモ此際更ニ好意の考慮ヲ得度旨申入置タルニ付御承知アリタシ(二十六日)

五五二 十二月二十七日 内田外務大臣ヨリ
在中國小幡公使宛(電報)

我陸軍当局ハ日中軍事協約ニ基キ中国米輸入交渉開始ノ意向ナル旨通報ノ件

第一一八五号

陸軍当局ハ日支軍事協約ニ基キ支那ヨリ米百万石内外ヲ入手シ不取敢之ヲ大連又ハ旅順ノ倉庫ニ貯藏スルノ目論見ニテ不日支那当局ト交渉ヲ始ムルノ考ナリ右貴官御含マテ電報ス

五五三 十二月三十一日 在中國小幡公使ヨリ
内田外務大臣宛(電報)

曹汝霖ヨリ正金武内ニ対シ蕪湖米輸出方ニ関シ申出アリタルニ付請訓ノ件

第一八二六号

十二月三十日武内曹汝霖ノ需メニ応ジ往訪シタル処蕪湖米

五五七

輸出ノ件ニ談及シ本件ハ安徽督軍ト内交渉ノ結果支那斤百斤(我ガ一石ハ約二百五十斤ニ当ル)ニ付蕪湖渡シ四弗六七十仙(釐金税ヲ含ム)外ニ護照料一弗合計五弗六七十仙ニ談合付カバ同督軍ノ手ニ於テ差当リ第一回分トシテ二三十万石ヲ取纏メ買収ノ上日本ハ輸出シ得可シトノコトナルニ就テハ日本側ノ意見如何ト申述ベタル趣ナリ從テ右ハ中央政府及督軍側ノ儲仕事ト觀察セラルルニ付前記値段ニハ

多少懸引アルヤモ知レザレトモ兎モ角大体右申出ノ筋合ニテ談ヲ進メシメ差支ナキヤ至急御詮議ノ上何分ノ儀御電訓ヲ請フ目下旧曆節季ニ近キ支那各方面ニ於テ資金ノ需要逼迫ノ際ナレバ我方ニ於テモ此機ヲ逸セズ談ヲ進ムル方好都合ト思料セラルルニ付御回報ノ儀モ可成至急ニ願ヒ度シ
(二十一日)

事項一〇 中国輸入税率改正一件

五五四

一月四日 在上海有吉総領事ヨリ
本野外務大臣宛(電報)

中国関稅改正會議ニ於ケル多数決主義及新關稅率決定前ノ暫行章程ニ対スル日本ノ反对ニ
關スル措置振並標準年度ニ付請訓ノ件

関稅第一号

関稅改正會議ニ関シ多数決主義ニ対スル我方ノ反对ハ支那側並聯合國委員等ニ未タ徹底シ居ラサルカ如ク曾委員長本官訪問ノ際ニモ多数決ノ主義ハ聯合國公使ニ於テ一致決定セラレタル所ナル旨申出タルニ付右ニ付テハ林公使ヨリ反对ノ旨申入アル趣篤ト申通シ置キタル処其後仏国委員「ナイト」ニ面会ノ節同人モ亦右ハ聯合國公使ノ一致賛成セル所ナル由通知ヲ得居レリトシ英国委員「フラックス」ニモ確メタル処彼ハ十二月十一日附電報ヲ示シ林公使ニシテ反对セラレタル以上「ジョルダン」ガ之ヲ承知シテ斯ル通知ヲナス筈ナカルヘシトセルニ付本官ハ其後ノ會議ニ於テモ

一〇 中国輸入税率改正一件 五五四

同公使ハ更ニ明白ニ反对ノ旨申入レタル筈ナル旨説明セル処彼ハ一応北京ニ問合スヘキモ多数決ニ依ラス「ユナニマス」ノ決議ヲ必要トセハ独逸側ノ機關ヲ務ムヘキ中立国領事ノ二三アルコトハ事實疑ナク和蘭領事等ノ如キ其ノ重ナル一人ニシテ事ノ独逸ノ利益タルト否トニ論ナク吾人ノ一致セル所ニハ必ス反对スヘキハ予想ニ余アリ結局本會議ハ初ヨリ開カサルヲ優レリトスル結果ニ立至ルヘク斯ノ如キハ既ニ主義トシテ現実五分ニ引上方向同意ヲ与ヘタル精神ニ反スヘク多数決トセハ同盟国委員間ニ於テ大ナル利益ノ背馳ナキ限リ日英米仏等四五国委員ノ意思ニ依リ會議ヲ指導シ容易ニ議事ノ進行ヲ計リ得ヘキ事情等ヲ縷々陳述シ更ニ我政府ノ再考ヲ求メラレタキ旨申居レリ本件ニ付テハ芳沢代理公使発本官宛機密第三六号附屬公使団決議録ニテハ公使一致ノ賛成ノ如クニ記載セラレ居リ其後林公使ノ反对申入ハ何方ニモ通知ナキ模様ニ付当地會議ニ於テ本問題ノ提起セラレヘキハ必然ト認メララルル処右ニ関スル英国側委員

五五九